

しかはま自然観察会

のらえもん

『人も 自然も みんなともだち !』No.18

代表責任者

古高 利男

☎270-1132

我孫子市湖北台 2-14-7

☎090-7275-9890

2014, 2, 8 (土)

第18回活動「草木染め」

- 1, 日時：2014年2月8 (土) 午後2:00～4:00
- 2, 天気：大雪の注意報
- 3, 場所：上沼田小学校家庭科室
- 4, 参加者：家族 4 内訳 大人 4
小学生 4
幼児 1
合計 9 スタッフ3 総計12
- 5, 活動の様子

中止！

準備万端で、リュックを玄関においておくと、外室から帰ってきた妻が「明日、いくの？」と聞く。「もちろん！」「大雪だって！！」「えっ！！！」すぐにテレビをつけた。「関東で、大雪のおそれがあります。外室をひかえてください」と伝えている。

空模様も怪しくなってきた。中止！やむなしと、参加者に連絡。あわせて梅北さんにはメールで配信してもらった。

案の定、8日は朝から雪が降り始め、だんだんと雪の粒が大きくなってきた。風も強まり、雪国の様子になってきた。

翌朝、「びっくり！！」どこもかしこも真っ白！積雪は20cm以上。吹きだまりでは50cm以上もある。木々の枝には雪がつもり、その重みで垂れ下がっている。すべてが、白銀の世界に一変していた。

45年ぶりの大雪だという。

これで、今年度3回目の中止だ。

◎1回目：2013年8月31(土)9月1(日) 富士登山
台風接近のため中止

◎2回目：2013年10月5 (土) 秋の生き物観察
雨のため中止

◎3回目：2014年2月8 (土) 草木染め
大雪のため中止

のらえもんの活動が中止になることは、いままでありませんでしたが・・・。

草木染めのやりかた

- ① タマネギの茶色い皮を集める。
たくさん必要になるので、集め方を工夫する。
茶色い皮を使うので、秋から冬にかけてが草木染めの時期になります。
- ① タマネギの皮を、煮詰めて、煮汁をつくる。
大きな鍋にタマネギの皮を入れ、水を8分目入れ、強火で沸騰させる。
濃い色が出てきたら、煮汁だけ別の容器に入れて冷ます。
冷めたら、使う当日まで、2リットルのペットボトルに入れておくと、利用しやすい。
- ② 染めたい白いハンカチやTシャツに模様をつける。
模様をつけるために、輪ゴム・たこ糸・ビー玉・ドングリ・割り箸などを利用し、白い部分が出るようにする。
ここは、工夫のしどころ！
- ③ 定着液をつくる。
黄色く染めたいときは、白菜漬けに使うミョウバンを、草色に染めたいときは、ナス漬けに使うミョウバンを利用する。
容器に溶かしておく。
- ④ タマネギ汁の容器と、定着液の容器を用意する。
- ⑤ 染める作業開始
◎タマネギ液に浸けて、ゆっくり40回もむ。絞る。
◎定着液に浸けて、ゆっくり40回もむ。絞る。
◎上記の作業を、3回繰り返す。
- ⑥ 水洗いする。
色が出なくなるまで、よく水洗いする。絞る
- ⑦ アイロンをかける。
新聞紙を広げ、その上に濡れたハンカチをおく。
上からアイロンをかけて、乾かしながら皺をのばしていく。
- ⑧ 完成！！
- ⑨ 出来上がった作品を、みんなで鑑賞しあったり、記念写真を撮ったりして、思い出づくりをしましょう。
- ⑩ 残った液は、まとめておき、みんなで使えるようにしておくと、液の無駄が省け、また繰り返しの草木染めができ、より楽しむことができます。

*定着液は、一時的に手に染まりますが、すぐに落ちてくれます。もし、気になるようでしたら、手袋をしてください。

*家族で楽しめます。

子どもたちにとっては水遊び・数遊びにもなるようです。

模様の偶然性に、誰も失敗はありません。